

## 研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： ウイルスゲノムを利用した糸状菌の二次代謝機能開発

2. 個人研究者名

二宮 章洋（東京大学大学院農学生命科学研究科 助教）

3. 事後評価結果

本 ACT-X 研究では、糸状菌の休眠遺伝子を菌類ウイルスによって活性化し、新たな物質生産につなげようとする研究開発を目指した。従来のプロトプラスト法も含めて検討した結果、パーティクルガンを用いてウイルスの導入が可能であることを明らかにした。成功した技術については、より効果的な見せ方を再考するとよりインパクトを強調できるように思う。残念ながら、ACT-X 期間中に二次代謝への影響を調べるところまでは至らなかったが、今後の展開、および技術のさらなる向上、ウイルスの宿主選択性、テヌアゾン酸蓄積のメカニズム詳細等、興味深い課題の推進・解明が待たれる。

ACT-X 領域全体のアクティビティとしては、「質量分析イメージング」セミナーを企画し、ACT-X 研究者の学術交流の促進にも貢献した。

真菌とウイルスの相互作用は非常に重要な課題なので、ACT-X で対象とした視点に止まらず、広く研究を進め、新分野を切り拓くことを期待する。